

【教育目標】 夢へのチャレンジ 切磋琢磨する生徒 (令和4年11月1日改訂)



さくら ばな
桜 花

○美の心
○本気の学び
○論より実践

令和6年10月31日発行 第6号

= 「本気の学び」 =

「本気の学校祭」

木々の紅葉が日ごとに深まる10月17、18日に、学校最大の行事「美幌中学校祭」を開催しました。一日目は会場となる、びほーるへ多くの方々に来場していただきました。今期生徒会が掲げたテーマ「初心」を胸に臨んだ合唱コンは、各学級が最高のパフォーマンスを披露してくれました。

二日目の演劇では、笑いあり涙ありの迫真の演技が観衆の心を打ち、生徒の成長を肌で感じる舞台となりました。そして力作ぞろいの展示は、各学年の思いが伝わる作品に、感嘆の声が溢れました。

お忙しい中、ご来場いただきました保護者、地域の皆様には、心より感謝とお礼を申し上げます。

〈コミュニティ・スクール〉

さて、皆さんはコミュニティ・スクールという制度を聞いたことがありますか？コミュニティ・スクールとは、学校や子供たちの課題解決に向けて保護者や地域が一定の権限と責任を持つ「当事者」として学校運営に参画する「学校運営協議会」を設置した学校のことです。

美幌中学校の「学校運営協議会」は、地域の代表者からなる7名の委員が参加しており、年間3回以上の協議会を開催しています。

また、地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。

さらに、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。予測困難なこれからの社会においては、学校・家庭・地域が連携・協働し、社会全体で学校や子供たちの成長を支えることが重要であり、今後もコミュニティ・スクールとして美幌町教育委員会と連携し、学校運営を推進していきます。



現在、美幌町では、令和13年度の義務教育学校開校に向けたビジョンを策定し、中学校区における小中一貫教育の活動を推進しています。また、学校の教育活動だけでは解決できない課題が山積しており、保護者や地域の力を借りて、子供たちを見守り、サポートしていく仕組みを構築することが急務となっております。美幌中学校の生徒の未来のために、今できることを町ぐるみで携わっていただき、学校と地域が一体となったコミュニティ・スクールを作り上げていきたいと思っております。皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

「学校祭」の風景 ～生徒会スローガン「初心」完結～



総合的な学習の時間「美幌の自然・環境 体験活動」「木育学習」の風景
～美中生を支える地域の力とともに～



森東部森林室／町林業グループ職員による
枝打ち体験（2年）



美幌町廃棄物処理場でのペットボトル
分別作業体験活動（3年）

輝け！美中生（敬称略、入賞分のみ）

【美術】

＜美幌町青少年育成協議会主催「『明るい家庭づくり』絵画コンクール」＞

（中学生の部）最優秀賞 3年 I・M

優秀賞 2年 C・R

優良賞 1年 K・M



【サッカー】

地区カブスリーグ決勝大会

1回戦 VS 千歳中学校 1st ○3-0

2回戦 VS 手稲中学校 ●0-3



道東カブスリーグ参入戦＜準優勝＞

予選リーグ＜予選1位通過＞

1戦目 VS プロGRESS十勝B ○2-1

2戦目 VS S.V.AbenDeur 釧路 ○4-1

決勝トーナメント

準決勝 VS 景雲中学校 ○1-0

決勝戦 VS プロGRESS十勝B △0-0 (PK●2-4)

【テニス】

ダンロップカップ北海道中学1年生団体王座ソフトテニス大会

女子の部 N・Tペア＜準優勝＞



【弓道】

紋別市長杯争奪弓道大会

男子の部 優勝：H・K

準優勝：Y・K

3位：K・Y

女子の部 準優勝：S・H

3位：S・K



読売新聞社優勝旗争奪全道弓道大会

中学男子 団体の部 優勝：美幌A H・K H・H Y・K

中学女子 団体の部 優勝：美幌 K・S S・K S・H

